

## 平成30年度匝瑳市後期高齢者医療特別会計決算の概要

市民課保険料班  
0479-73-0086

平成30年度の後期高齢者医療特別会計決算は、歳入が前年度比4.4%の増、歳出が4.5%の増となりました。その結果、実質収支額は134万6千円の黒字となりました。

### 1 平成30年度後期高齢者医療特別会計決算収支の状況

平成30年度の後期高齢者医療特別会計の決算は、歳入が前年度比4.4%増の4億2,052万7千円、歳出が前年度比4.5%増の4億1,918万1千円となりました。

その結果、平成30年度の実質収支額は、134万6千円の黒字となりました。

(単位:千円)

区 分	H30年度 ①	H29年度 ②	比較 ③=①-②	増減率 ③/②
歳入総額 A	420,527	402,729	17,798	4.4%
歳出総額 B	419,181	401,244	17,937	4.5%
歳入歳出差引額 C=A-B	1,346	1,485	△ 139	△ 9.4%
翌年度へ繰り越すべき財源 D	0	0	0	—
実質収支額 E=C-D	1,346	1,485	△ 139	△ 9.4%

実質収支額の推移

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30
実質収支額	2,957	2,098	579	1,485	1,346

### 2 歳入決算

(単位:千円)

区 分	H30年度 ①	H29年度 ②	比較 ③=①-②	増減率 ③/②
後期高齢者医療保険料	273,919	260,133	13,786	5.3%
国庫支出金	972	0	972	皆増
繰入金	128,875	126,270	2,605	2.1%
繰越金	1,485	579	906	156.5%
諸収入	15,276	15,747	△ 471	△ 3.0%
計	420,527	402,729	17,798	4.4%

#### 《主な増減要因》

(1) 後期高齢者医療保険料

保険料額の増加

(2) 国庫支出金

制度改正に伴うシステム改修費に対する補助金による増加

〈人口、被保険者数の状況〉

(単位:人)

区 分	H30年度 ①	H29年度 ②	比較 ③=①-②	増減率 ③/②
人口	36,466	36,969	△ 503	△ 1.4%
75歳以上の高齢者人口	6,314	6,231	83	1.3%
被保険者数(障害認定者含む)	6,291	6,197	94	1.5%

※人口、75歳以上の高齢者人口及び被保険者数は年度末

### 3 歳出決算

(単位:千円)

区 分	H30年度 ①	H29年度 ②	比較 ③=①-②	増減率 ③/②
総務費	23,992	22,779	1,213	5.3%
後期高齢者医療広域連合納付金	380,504	363,167	17,337	4.8%
保健事業費	14,477	14,186	291	2.1%
諸支出金	208	1,112	△ 904	△ 81.3%
計	419,181	401,244	17,937	4.5%

《主な増減要因》

- (1) 後期高齢者医療広域連合納付金  
保険料の増加による増加
- (2) 諸支出金  
過年度還付金の減少による減少

〈医療給付費の状況〉現物給付(医科、歯科等)

(単位:円、件)

区 分	H30年度 ①	H29年度 ②	比較 ③=①-②	増減率 ③/②
1人当たり医療費	687,963	600,560	87,403	14.6%
1件当たり医療費	28,853	28,140	713	2.5%
1人当たり受診件数	24	21	3	14.3%

〈医療給付費の状況〉現金給付(高額療養費等)

(単位:円)

区 分	H30年度 ①	H29年度 ②	比較 ③=①-②	増減率 ③/②
1件当たり給付費	8,379	8,336	43	0.5%